

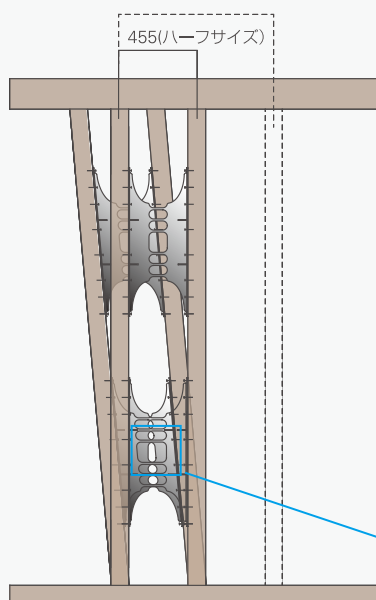
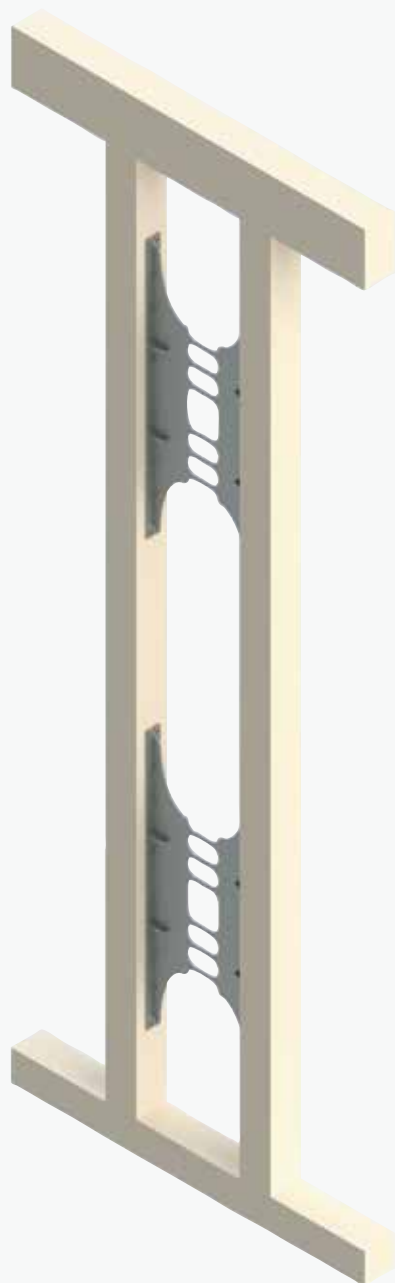
MUSASABI 455

ハーフサイズ耐震・制振壁





住宅設計プランニングの自由度が広がる！ 独特の形状が付加価値の高い、安定した性能を発揮。



耐震性能・制振性能を併有

狭小地でも開放的な空間で安全に暮らしたい。
壁の少ない大開口の部屋がほしい。
そんな、自由なプランニングを実現する、
ハーフサイズ耐震・制振壁 MUSASABI 455。

従来の耐力壁と比べ、
コンパクトな狭小耐力壁を利用すれば、
大開口窓やビルトインガレージ等の
開放的な空間のデザインと
安全性の両立を実現できます。
MUSASABI 455は、
壁倍率5.7倍相当の耐震強度と、
制振性能を併有。

同じ壁倍率の木造壁に比べ、
地震時の揺れが減され
建物へのダメージを少なくします。
住宅設計の可能性と、強さと安心を兼ね備えた、
新しいタイプの耐震・制振壁です。



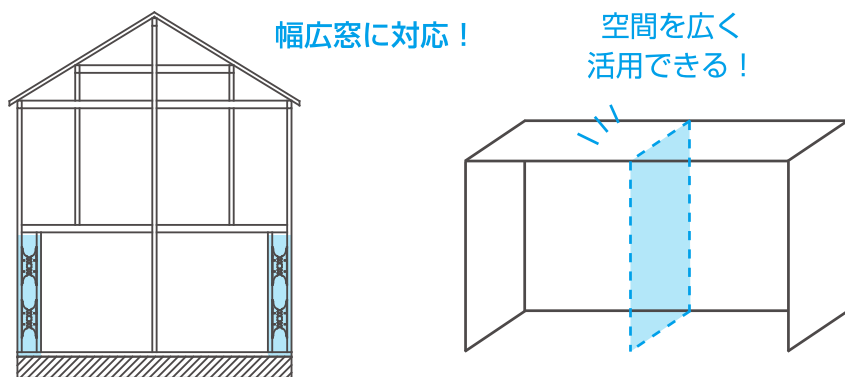
金属の靱性を活かして地震時にはエネルギーを吸収。
建物へのダメージを緩和します。

ハーフサイズ耐震・制振壁 壁倍率 **5.7倍相当**

従来の耐力壁と比べ、
コンパクトサイズ[MUSASABI 455]を利用すれば、
これまでにない開放的な空間を、造り出すことが可能です。

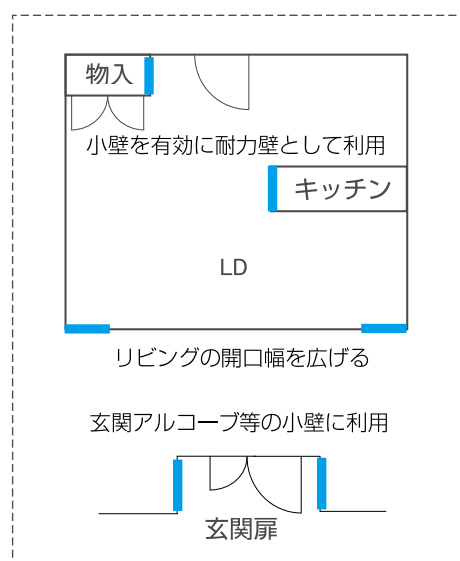
1.大開口・大空間

太陽の降り注ぐ大きな窓や、大きなリビングは、とても人気のあるづくりです。
「大開口・大空間作り」の新たな技法として、幅広い用途にご使用頂けます。
壁を少なくした、間取りを広く活用できる住宅プランを立てることが可能です。



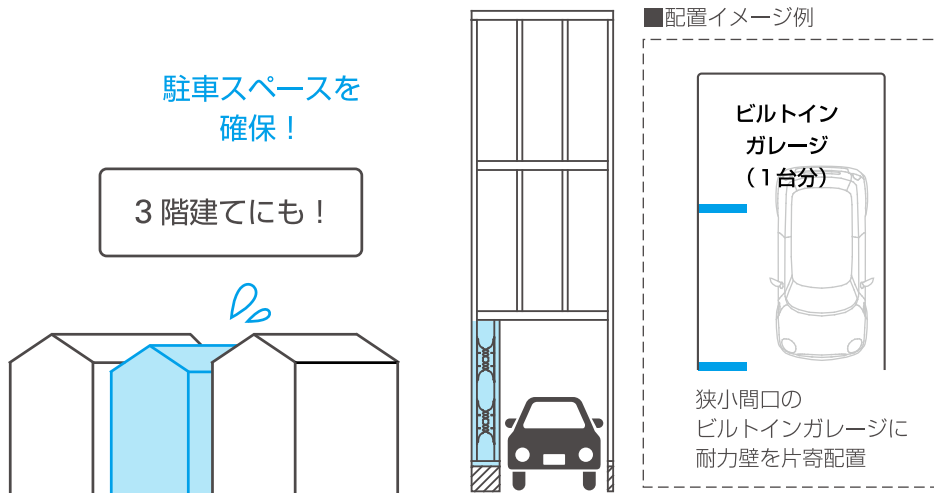
サイドのスペースにも設置可能です。

■配置イメージ例

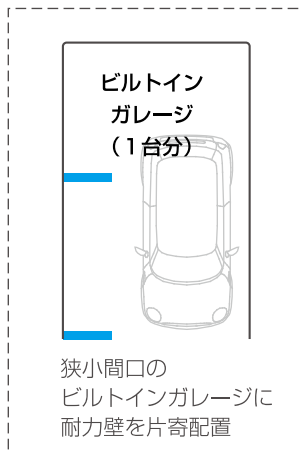


2.間口の狭い建物・ガレージ

人口密集地では、土地を十分に確保できない場合もあります。狭小耐力壁を使用することで、効率よく壁に耐力壁を設置することができます。1階を駐車場にする場合、間口の狭い建物でも十分な駐車スペースをとることができます。



■配置イメージ例



3.耐震性の確保

狭小耐震壁であれば狭いスペースにも設置することができるため、耐震等級を上げることも可能です。

3階建や積雪地域ではプランを制限しないと耐震性を確保することが難しいことがよくあります。

耐震等級3が当たり前になってきている時代に無理なく耐震性能をアップすることも可能になります。

無駄なく
耐震力アップ！

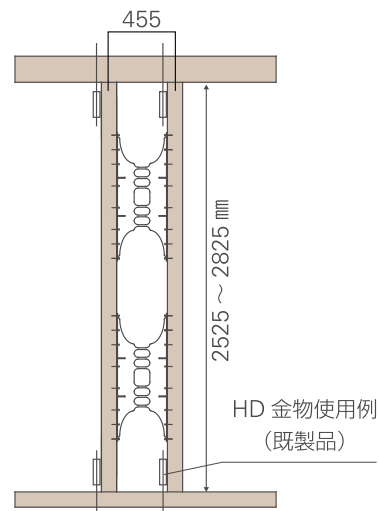


■ 施工性

耐力壁の幅 455mm、柱内法寸法は 350mm であり、コンパクトな形状であるといえます。また、補強や特殊金物などもないため、一般の木造工事と同じ感覚で施工できます。

製品情報

耐力壁の幅 : 455mm、柱内法寸法 350mm
耐力壁の高さ : 2525mm 以上 2825mm 以下
(横架材間内法寸法)
配置できる階 : 1~3 階

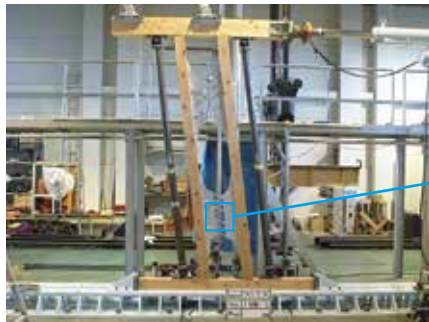


特殊な施工の必要がありません。

■ 壁倍率5.7倍相当+制振性能

金属の靱性を活かして「粘り強い」という特性をもつ耐震壁です。地震の時にはエネルギーを吸収して、建物へのダメージを緩和します。また、壁倍率 5.7 倍相当であるため、小さな壁に設置するだけでも大きな耐力が得られます。

性能評価試験



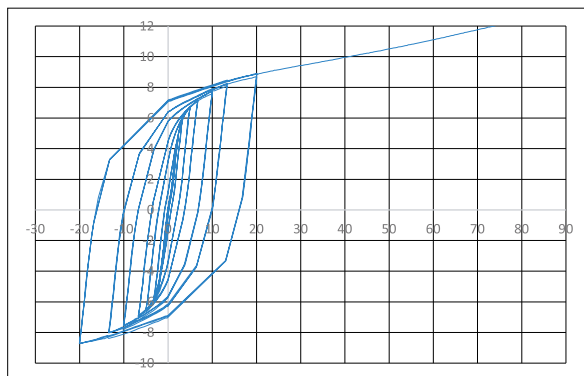
(公財) 日本住宅・木材技術センター

鋼製デバイスの塑性部変形の様子



塑性変形により建物の振動エネルギーを吸収
※ 図で剥がれているものは、表面の溶融亜鉛メッキです

性能評価試験結果



大きな変形があっても、亀裂が入ったり破断したりする事無く耐えました。

評価書



新工法性能認証取得
(公財) 日本住宅・木材技術センター
(2020 年 10 月)



株式会社タカミヤ

営業本部 事業開発部 住宅建材・PV事業課
東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング12階 〒103-0027 T 03. 3276 3924



www.takamiya.co

製品は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。